希望新聞

東日本大震災希望新聞取材班
〒100－8051（住所不要）毎日新聞生活報道部
ファクス03・3212・5177
メールkibou@mainichi.co.jp

被災した皆さんに役立つ情報や応援メッセージをお待ちしています。「ここにいます」「さがしています」「がんばろう」への投稿は、氏名、住所、年齢、職業、電話番号（あればメールアドレスも）を明記してください。

ここにいます

〈宮城県〉

★小山正人さん（75）＝気仙沼市錦町（松岩公民館） 地震の後、めまいがすると思っていたら、1人暮らしをしていたアパートごとすでに水に浮かんでいました。約800メートル流された末、何かに引っかかっていた別の家の屋根に飛び移って陸地に逃げました。しかしそこも火事になり、火の手を避けながら野外で寒い一晩を過ごしました。長崎県諫早市に住む妹の田口君江に「元気だ」と伝えたいです。

小山正人さん

★佐々木とき子さん（67）＝南三陸町志津川蛇王 電気も水道も電話もありません。自宅に残っています。町内で別に暮らしていた長女恵子（43）と孫の湧真（17）の安否が分かりません。3月11日は親子で町外の病院に行ったらしいのですが、それ以上詳しいことが分かりません。4月1日は湧真の誕生日で、いつもならみんなで楽しくケーキを食べるはずの日だったのですが、今年は寂しい一日になりました。

さがしています

〈岩手県〉

☆山田町の阿部高已さん（68）、妻の秋子さん（60代）へ 山口県周南市の木下勝士さん（69）が自宅（0834・21・7610）で連絡を待っています。阿部さんと木下さんは約40年前、同じマグロ漁船に乗っていました。

☆大船渡市三陸町吉浜向野、昆布販売業者「欠畑（かけはた）商店」さんへ 埼玉県草加市の障害者通所施設「あしかび」の保護者会代表、川口操さん（68）が心配しています。販売用の昆布の仕入れ先だったそうです。「保護者一同心配しています。お電話（090・9345・1116）ください」

☆大船渡市三陸町吉浜の杦木澤（はのきざわ）光毅さん（60代）へ 警視庁第2機動隊で一緒だった東京都葛飾区の井上禎男さん（66）が捜しています。杦木澤さんは昨年、気仙地方森林組合長でした。「どなたか消息を自宅（03・3694・1436）に連絡ください」

〈宮城県〉

☆女川町鷲神浜荒立の安達ちよさん（90代）へ めいの千葉県我孫子市の吉野良子さん（68）が自宅（04・7182・6814）で待っています。

☆仙台市の山本（旧姓・吉井）隆枝さん（41）、高橋（旧姓・篠田）かおりさん（41）へ 大阪府寝屋川市の佐々木圭治さん（41）が捜しています。3人は奈良県の天理高校で同学年でした。2年生の担任だった中井信輔先生も心配しているそうです。携帯電話（090・6322・8285）に連絡ください。

☆気仙沼市錦町の木戸浦（旧姓山内）敏子さん（58）へ 秋田県にかほ市の中津洋子さん（57）が心配しています。木戸浦さんは歯科衛生士として働いていました。「どなたか消息を自宅（0184・43・5051）か会社（0184・43・6602）に連絡ください」

〈福島県〉

☆南相馬市原町区国見町の角田靖夫さん（63）、妻のみな子さんへ 早大教育学部英文科の同級生で、兵庫県姫路市の林幹夫さん（62）が消息を求めています。角田さんは県立原町高校の英語教諭でした。「携帯電話（090・5053・5697）に連絡ください」

☆いわき市久之浜町久之浜の川尻勝さんと妻の操さん、松下広司さんへ いとこで千葉県野田市の川尻和政さん（71）が、自宅（04・7124・2805）か携帯電話（090・7267・1523）に連絡を待っています。勝さんは大工をしていたそうです。

☆富岡町上手岡高津戸の遠藤芳子さん（58）、夫の憲二さん（60代）へ 新潟県魚沼市の八木実千代さん（57）が自宅で連絡を待っています。遠藤さんと八木さんは約30年前、東京都足立区の事務用品店「カンダヤ」で一緒に働いていました。

☆浪江町中浜西原の高田耕寿さん（53）へ 妻の正子さん（53）が捜しています。耕寿さんは地震当日、風邪のため自宅にいました。午後3時20分ごろ、勤務先に「これから移動します」と電話をかけ、その後の行方が不明です。身長約175㌢、

ツイッターでも随時発信

ツイッター（@mainichi_kibou）でも、被災した皆さんへのサポート情報や、各地の支援の動きを随時発信しています。これまでのツイートはこちらで検索できます。
http://bit.ly/frO91P

がんばろう

●歌舞伎俳優、松本幸四郎さん 被災された方、ご家族を亡くされた方、ご不自由な生活をなさっている方々にお悔やみとお見舞いを申し上げたいし、一日も早い復興をお祈りしております。

私は昨年までに日本の全都道府県で「勧進帳」の弁慶をつとめ、東北のすべての県をまわりました。被災された中にも私の弁慶をご覧になられた方がいらっしゃるようで、胸が痛みます。

私は役者です。一番のつとめは私の芝居を見たみなさんに感動、勇気、癒やしを与え、悲しさ、苦しさを一瞬でも忘れ、安らぎの気持ちを感じていただくことだと思ってまいりました。

今は被災地の方たちのために、日本がひとつにならないといけないし、私もその中でできる限りのことをしたいと思います。

4月は「四国こんぴら歌舞伎大芝居」（9～24日）で香川県琴平町に参ります。何をできるかを所属する「日本俳優協会」のみんなと考えたいと思います。

希望新聞ツイッターに寄せられたメッセージより

●頑張れとは言いません。被災者の方は生きているだけで頑張っているのだから。息抜きできる自分の場所や人間関係を作ってくださいね＝yonepon730

●世界中の人が、何かできることはないかって考えてます。私も、できる限りと思ってます＝nanakusanao

●こちらは神戸市垂水区です。阪神大震災から見事、復興したんです。希望を持って生きていれば必ず復興できるんです＝banwife

みつかりました

▽3月25日掲載の福島県浪江町、渡辺はつ江さん一家は福島市で無事に過ごしていました。知人の東京都目黒区の小松久子さんに「新潟の長女が新聞を見て連絡をくれた」と電話がありました。

▽27日掲載の福島県富岡町、梅田和行さん一家も無事でした。友人の横浜市の村上令一さんに「東京の親戚の家にいる」と電話がありました。

▽4月1日掲載の福島県大熊町の吉田賢一さんから、親戚で大阪市の西川康雄さんに、「全員無事で茨城県の娘の家に避難している」と電話がありました。

▽1日掲載の仙台市青葉区の原山重明さんと妻の優子さんは、震災前に転居して無事でした。捜していたスイスのビーマン吉武南さんに1日、重明さんからメールが届きました。新聞を見た友人から知らされたそうです。重明さんは10年間住んだ釜石市の旧友のため、義援金集めをしているとつづっていました。

▽3日掲載の福島県浪江町、渡辺はつ江さん一家は福島市で無事に過ごしていました。知人の東京都目黒区の小松久子さんに「新潟の長女が新聞を見て連絡をくれた」と電話がありました。

▽4日掲載の福島県大熊町、吉田賢一さんから、親戚で大阪市の西川康雄さんに、「全員無事で茨城県の娘の家に避難している」と電話がありました。

▽5日掲載の福島県富岡町、梅田和行さん一家も無事でした。友人の横浜市の村上令一さんに「東京の親戚の家にいる」と電話がありました。

▽6日掲載の福島県富岡町、梅田和行さん一家も無事でした。友人の横浜市の村上令一さんに「東京の親戚の家にいる」と電話がありました。

▽7日掲載の福島県大熊町、吉田賢一さんから、親戚で大阪市の西川康雄さんに、「全員無事で茨城県の娘の家に避難している」と電話がありました。

▽8日掲載の福島県富岡町、梅田和行さん一家も無事でした。友人の横浜市の村上令一さんに「東京の親戚の家にいる」と電話がありました。

▽9日掲載の福島県大熊町、吉田賢一さんから、親戚で大阪市の西川康雄さんに、「全員無事で茨城県の娘の家に避難している」と電話がありました。

▽10日掲載の福島県富岡町、梅田和行さん一家も無事でした。友人の横浜市の村上令一さんに「東京の親戚の家にいる」と電話がありました。

▽11日掲載の福島県大熊町、吉田賢一さんから、親戚で大阪市の西川康雄さんに、「全員無事で茨城県の娘の家に避難している」と電話がありました。

▽12日掲載の福島県富岡町、梅田和行さん一家も無事でした。友人の横浜市の村上令一さんに「東京の親戚の家にいる」と電話がありました。

▽13日掲載の福島県大熊町、吉田賢一さんから、親戚で大阪市の西川康雄さんに、「全員無事で茨城県の娘の家に避難している」と電話がありました。

▽14日掲載の福島県富岡町、梅田和行さん一家も無事でした。友人の横浜市の村上令一さんに「東京の親戚の家にいる」と電話がありました。

▽15日掲載の福島県大熊町、吉田賢一さんから、親戚で大阪市の西川康雄さんに、「全員無事で茨城県の娘の家に避難している」と電話がありました。

▽16日掲載の福島県富岡町、梅田和行さん一家も無事でした。友人の横浜市の村上令一さんに「東京の親戚の家にいる」と電話がありました。

▽17日掲載の福島県大熊町、吉田賢一さんから、親戚で大阪市の西川康雄さんに、「全員無事で茨城県の娘の家に避難している」と電話がありました。

▽18日掲載の福島県富岡町、梅田和行さん一家も無事でした。友人の横浜市の村上令一さんに「東京の親戚の家にいる」と電話がありました。

▽19日掲載の福島県大熊町、吉田賢一さんから、親戚で大阪市の西川康雄さんに、「全員無事で茨城県の娘の家に避難している」と電話がありました。

▽20日掲載の福島県富岡町、梅田和行さん一家も無事でした。友人の横浜市の村上令一さんに「東京の親戚の家にいる」と電話がありました。

▽21日掲載の福島県大熊町、吉田賢一さんから、親戚で大阪市の西川康雄さんに、「全員無事で茨城県の娘の家に避難している」と電話がありました。

▽22日掲載の福島県富岡町、梅田和行さん一家も無事でした。友人の横浜市の村上令一さんに「東京の親戚の家にいる」と電話がありました。

▽23日掲載の福島県大熊町、吉田賢一さんから、親戚で大阪市の西川康雄さんに、「全員無事で茨城県の娘の家に避難している」と電話がありました。

▽24日掲載の福島県富岡町、梅田和行さん一家も無事でした。友人の横浜市の村上令一さんに「東京の親戚の家にいる」と電話がありました。

▽25日掲載の福島県大熊町、吉田賢一さんから、親戚で大阪市の西川康雄さんに、「全員無事で茨城県の娘の家に避難している」と電話がありました。

▽26日掲載の福島県富岡町、梅田和行さん一家も無事でした。友人の横浜市の村上令一さんに「東京の親戚の家にいる」と電話がありました。

▽27日掲載の福島県富岡町、梅田和行さん一家も無事でした。友人の横浜市の村上令一さんに「東京の親戚の家にいる」と電話がありました。

サポート情報

～東日本大震災～

2日現在

給油

被害が大きかった地域を中心に、電話で営業が確認できた主な給油所は次の通り。

〈岩手県〉◆久慈市（局番0194）▽エネオス＝新中の橋（☎52・3800）7～20時▽侍浜（☎58・2211）7時半～18時半▽コスモ＝霜畑（☎75・2018）7～19時▽大川目（☎55・3339）7～20時▽久慈（☎61・3050）7～20時◆宮古市（局番0193）▽出光＝106号宮古（☎64・5045）7～21時予定▽津軽石（☎67・2668）8時半～18時▽摂待（☎87・5134）8～17時▽コスモ＝千徳（☎62・5400）7～19時◆釜石市（局番0193）出光＝中妻（☎23・6462）8～17時▽エネオス＝Dr・Drive釜石西（☎23・7564）8～18時予定◆田野畑村（局番0194）出光＝田野畑南（☎32・2131）8時半～19時▽エネオス＝田野畑（☎33・2800）8時～18時半

〈宮城県〉◆気仙沼市（局番0226）出光＝本吉（☎42・2561）8～12時▽エネオス＝本吉（☎42・2026）8～18時▽昭和シェル＝松川（☎23・1613）8～18時◆塩釜市（局番0222）出光＝仙台産業道路東インター（☎2288・8831）7～17時◆名取市（局番0222）エネオス＝JQuest名取店（☎383・0261）8～15時▽コスモ＝名取砂金（☎382・3228）8時から在庫なくなり次第▽名取西（☎383・6061）8時半～15時（6時から約700台に整理券配布）◆岩沼市（局番0223）エネオス＝Dr・Driveセルフ愛島店（☎23・6155）8～18時（一般車両は13時まで）◆亘理町（局番0223）エネオス＝パークシティわたり（☎34・3666）7～19時（整理券配布。ガソリン給油30ℓまで）◆山元町（局番0223）エネオス＝坂元（☎38・0700）8～18時予定

〈福島県〉◆相馬市（局番0244）出光＝松川浦（☎38・7312）6時半～18時半▽相馬（☎36・2622）8時から在庫なくなり次第▽コスモ＝相馬川沼（☎36・6668）8時から在庫なくなり次第▽昭和シェル＝グッドハート相馬セントラル（☎36・1353）9～18時◆南相馬市（局番0244）昭和シェル＝鹿島北（☎46・2154）9～15時◆いわき市（局番0246）出光＝6号いわきバイパス（☎58・5775Ø）8～18時▽エネオス＝小名浜泉町（☎56・5004）8時から在庫なくなり次第

給水

2日午前8時現在、8県の少なくとも約22万戸で断水中。主な内訳は、宮城県11万戸▽岩手県4万戸▽福島、茨城県各3万戸▽千葉県5900戸。復旧状況や給水に関する主な自治体の窓口は以下の通り。給水を受けるにはポリタンクなど容器の持参が必要。

〈岩手県〉▽宮古市☎0193・63・1115▽大船渡市☎0192・27・3111

〈宮城県〉▽仙台市☎022・748・1111▽気仙沼市☎0226・23・9900▽石巻市と東松島市（石巻地方広域水道企業団）☎0225・95・6711▽多賀城市☎022・368・1141▽名取市☎022・384・2111▽松島町☎022・354・5701▽亘理町☎0223・34・1111▽七ケ浜町☎022・357・7456▽山元町☎0223・37・1120

〈福島県〉▽相馬市と新地町（相馬地方広域水道企業団災害対策本部）☎0244・35・1020▽南相馬市☎0244・24・5271▽いわき市☎0246・22・9311

〈茨城県〉▽神栖市☎0299・90・1164▽鹿嶋市☎0299・82・2911▽潮来市☎0299・63・1111

〈千葉県〉▽香取市☎0478・55・8384

ボランティアとして被災者の家財を片付ける人たち。仙台市から参加した米国人語学教師のニコール・ネルソンさん（右から2人目）は津波でぬれた畳の重さにびっくりしたという＝宮城県石巻市で2日、小林努撮影

医療

（3日）

〈岩手県〉▽県立大船渡病院は救急のみ。

〈宮城県〉▽◆仙台市県庁前赤十字社診療テントは3日まで◆仙台市外石巻赤十字は救急の重症のみ▽気仙沼市立は救急のみ

〈福島県〉▽問い合わせ先＝県立大船渡病院は県地域医療課☎0247・22・5211▽相馬市☎0244・37・7251

〈茨城県〉▽救急医療情報システムで病院案内☎029・241・4199

入浴

3日に実施予定の自衛隊による入浴支援。

〈岩手県〉▽津軽石小（13～22時）▽山田高（11時半～21時）▽山田南小（シャワーのみ、13～21時）▽シープラザ釜石（12～21時）▽盛小（12～20時）▽米崎小（8～21時）▽大槌町ふれあい公園（12～21時）

〈宮城県〉▽気仙沼小（8～20時）▽南三陸町本部グラウンド（8時～17時半）▽万石浦中（12時～19時半）▽石巻市中央2市営駐車場（12時半～16時半）▽青葉中（シャワーのみ、9～12、14時～20時半）▽大塩市民公園（8～12、13～17、18～20時）▽石巻市消防本部グラウンド（8時～17時半）▽万石浦中（12～21時）▽シープラザ釜石（12～21時）▽米崎小（8～21時）▽大槌町ふれあい公園（12～21時）

〈福島県〉▽4日から山田町社協で受け付けが始まり、県内全市町村社協で実施。県社協生活福祉資金担当☎019・637・4496。

〈宮城県〉▽2日現在で受け付けしている市町村社協は▽大崎市▽白石市▽多賀城市▽登米市▽岩沼市▽蔵王町▽大河原町▽村田町▽柴田町▽川崎町▽丸森町▽亘理町▽七ケ浜町▽利府町▽大和町▽富谷町▽大衡村▽涌谷町。仙台市社協は先月27～31日に窓口を設置したが、今月中旬以降に改めて受付窓口を開く。県社協生活支援課☎022・225・8471、仙台市社協☎022・223・2142。

〈福島県〉▽4日から全市町村社協で受け付けを始める。双葉町など全町避難している自治体も、埼玉県社協など避難先の協力を得て実施する。県社協生活福祉資金担当☎024・523・1250、または県社会福祉課☎024・521・7322。

商業施設

〈マックスバリュ塩釜店〉▽3日9～15時、同店が入るイオンタウン塩釜ショッピングセンター横のしおぎせ通りで「塩釜復興市」を開く。野菜、果物、牛乳、卵などの食料品や日用品を販売。10時半からカップめん100食も無料配布する。

〈塩釜水産物仲卸市場〉▽3日は6時～正午、約100店で営業。☎022・362・5518。

〈松島さかな市場〉▽10～16時、マグロの刺し身、ワカメ、スルメなどを販売。☎0120・50・2318。

〈宮古市魚菜市場〉▽3日は7～17時、海産物店、青果店など約30店で営業。☎0193・62・1521。

〈いわて生活協同組合〉▽3日、山田町の避難所に昼食用として牛丼1300食を提供する。9日は大槌町、10日は陸前高田市でも予定。

〈福島県〉▽向陽中（12～21時）▽あづま総合運動公園（女性13～18時、男性18～21時）▽田村市総合体育館（12～22時）▽いわき市ニュータウンセンタービル東側（10～20時）▽ビッグパレットふくしま（10～12、15～20時）

〈ヨークベニマル〉▽3日9～15時、同店（シャワーのみ、14時～18時半）▽小野市民センター（シャワーのみ、14時～18時半）▽航空自衛隊松島基地（男性11～13時、女性14～16時）▽山下小（8～22時）▽亘理町中央児童センター（8～22時）▽逢隈中（8～22時）

〈福島県〉▽向陽中（12～21時）▽あづま総合運動公園（女性13～18時、男性18～21時）▽田村市総合体育館（12～22時）▽いわき市ニュータウンセンタービル東側（10～20時）▽ビッグパレットふくしま（10～12、15～20時）

〈ヨークベニマル〉▽3日9～15時、同店（シャワーのみ、14時～18時半）▽小野市民センター（シャワーのみ、14時～18時半）▽航空自衛隊松島基地（男性11～13時、女性14～16時）▽山下小（8～22時）▽亘理町中央児童センター（8～22時）▽逢隈中（8～22時）

自動車登録

被災地では自動車登録に関する手続きの特例措置がある。

新しく乗用車を購入したり譲り受けた場合に必要となる新規登録、移転登録手続きは、震災で実印を失ったり、市町村役場が印鑑登録証明書を発行できない場合、本人確認ができればサインで代用できる。車庫証明も、避難中で生活の拠点が定まらない場合は従来の住所で申請できる。

被災車両の抹消登録も、ナンバーが不明だったり、印鑑、印鑑証明がない場合にも受け付ける。

新規登録の適用地域は次の通り。

〈岩手県〉▽陸前高田▽大槌▽釜石▽宮古＝岩手運輸支局☎050・5540・2010▽宮城県▽石巻▽気仙沼▽亘理▽山元▽七ケ浜▽女川▽南三陸＝宮城運輸支局☎050・5540・2017▽福島県▽新地▽南相馬▽川内▽富岡▽双葉▽広野▽楢葉▽大熊▽浪江▽葛尾＝福島運輸支局☎050・5540・2034▽福島運輸支局いわき自動車検査登録事務所☎050・5540・2201

その他

■郵便

郵便局会社は沿岸の被災地などで、車両型の移動郵便局を配置している。3日の予定は次の通り（いずれも11～14時に営業）。印鑑、通帳をなくした人も20万円を限度に貯金を引き出せる。転居届を受け付けたり、希望者に通常はがきを無償で配っている。

〈岩手県〉▽陸前高田市立学校給食センター▽大槌高▽山田高▽釜石市立栗林小▽旧釜石商高▽大船渡市立盛小

〈宮城県〉▽仙台市立六郷中▽石巻市立中里小▽雄勝総合支所クリーンセンター▽石巻市立鹿妻小▽南三陸町総合体育館ベイサイドアリーナ▽七ケ浜多目的センター▽石巻市立蛇田小▽名取市立館腰小▽亘理町立逢隈小

×

郵便事業会社は、福島第1原発の事故に伴い、福島県内の屋内退避地域で配達業務を停止している。対象地域あての郵便物を9日まで、支店や集配センターで受取人に手渡す。事前に電話し、身分証明書を持参するよう呼びかけている。

10日以降の郵便物は、避難先届や転居届が出されていない場合、差出人に返還する。

HPで避難者名簿

岩手、宮城、福島の3県はホームページ（HP）で、各県内の避難者名簿を公表している。他県に避難した住民も一部掲載している。宮城県は「避難者情報ダイヤル」（☎022・211・3430）で問い合わせに対応。福島県も「避難所入所者情報センター」（☎024・521・5543～4）で対応している。

×

宮城、福島の両県警は相談が寄せられた行方不明者の一覧をHPで掲載中。岩手県警を含む3県警は、見つかった遺体に関する情報もHPで掲載している。

移転した役所と連絡先

＜岩手県＞
▽陸前高田市 市学校給食センター北側仮庁舎 ☎0192・59・2111
▽釜石市 市教育センター ☎0193・23・2420
▽大槌町 町中央公民館 ☎080・1851・4911
＜宮城県＞
▽女川町 女川第二小学校 ☎0225・54・3261
▽南三陸町 町総合体育館ベイサイドアリーナ ☎0226・47・1131
＜福島県＞
▽広野町 小野町民体育館 ☎0247・72・6246
▽楢葉町 会津美里町本郷庁舎 ☎0242・56・2155
▽富岡町 ビッグパレットふくしま ☎024・946・8813
▽川内村 ビッグパレットふくしま ☎024・946・8828
▽大熊町 田村市総合体育館（4日まで） ☎0247・82・1549
※5日から会津若松市役所追手町第2庁舎
▽双葉町 埼玉県加須市・旧県立騎西高 ☎0480・73・6880
▽浪江町 二本松市役所東和支所 ☎0243・46・4736～9
▽葛尾村 会津坂下町・川西公民館 ☎0242・83・2651

■主な問い合わせ先■

●行方不明者相談ダイヤル
岩手県警 0120・801・471
宮城県警 022・221・2000
福島県警 0120・510・186

●ライフラインなど
NTT災害用伝言ダイヤル 171
東北電力 0120・175・366

●医療
＜放射線被ばく相談＞
▽文部科学省健康相談ホットライン 0120・755・199（9～21時）
▽放射線医学総合研究所相談窓口 090・5582・3521▽090・4836・9386▽080・2078・3308など計6回線で対応（9～21時）
＜人工透析＞
▽岩手県 人工透析相談窓口 019・629・5471
▽宮城県 仙台社会保険病院 022・275・3111（かかりつけ医が対応していない場合のみ）
▽福島県 県地域医療課窓口 024・521・7221
＜その他＞
日本医師会 03・3946・2121
日本糖尿病協会 0120・151・721
てんかん支援ホットライン 054・245・5446
アレルギー支援ネットワーク 052・485・5208

●生活支援
日弁連電話相談 0120・366・556（平日10～15時）
あしなが育英会 0120・77・8565（遺児らに特別奨学一時金を支給）
心の相談緊急電話 0120・111・916（13～22時。日本臨床心理士会など）
いのちの電話震災ダイヤル 0120・556・189（4月9日まで毎日8～22時）
チャイルドライン支援センター 0120・99・7777（月～土16～21時）
多文化共生マネージャー全国協議会
▽英語 080・3503・9306（他に中国語、スペイン語などの窓口あり）
＜視聴覚障害者向け＞
「全日本ろうあ連盟」や「全国盲ろう者協会」がウェブサイトで支援情報などを提供。

●省庁
行政相談（東北管区行政評価局）0120・511・556（茨城行政評価事務所）0120・188・571
金融相談（東北財務局） 022・721・7078
農林水産業の被害相談（農水省）0120・355・567

●金融機関など
岩手銀行 0120・064・626
七十七銀行 0120・78・1177
東邦銀行 0120・104・157
ゆうちょ銀行 0120・108・420
東北労働金庫 022・723・1111
住宅金融支援機構 0120・086・353
日本政策金融公庫 0120・154・505
そんがいほけん相談室（日本損保協会）0120・107・808または03・3255・1306

●交通機関
JR東日本 050・2016・1600
JAL（国内線） 0570・025・071
ANA（国内線） 0570・029・222

遠くの被災地より

人が集まって話せる場作って

阪神大震災で弟2人失った

柴田大輔さん(23)

＝神戸市長田区、会社員

阪神大震災（95年）の時は小学1年で、当時1歳と3歳の弟を亡くし、母は右足に障害が残りました。ふさぎ込む私を救ってくれたのは、ボランティアや周りの大人たちとの触れ合いでした。

自宅で約6時間生き埋めになり、近所の人に救助されました。家族の安否も分からないまま近くの高校に避難しました。真っ暗な夜が怖かった。父に会えたのは約1週間後でした。半日後に助け出された母は、約2カ月意識が戻らず、私は父と約1カ月間、病院の待合室で暮らしました。

火事で燃え尽きた家に弟たちの遺体確認にも行きました。その翌日から高熱が出て、1週間ぐらいの記憶がありません。仮設住宅に入居しても、学校に行く気にはなれませんでした。真っ黒な絵を描いてカウンセリングを受けたこともありました。

学生ボランティアが鬼ごっこなどで遊んでくれた時は、地震のことを考えずにすみました。小学3年時の担任の先生は、休むと毎日迎えに来てくれて、プロ野球の試合観戦に連れて行ってくれたりしました。だんだん前を向けるようになり中学生のころには「自分が家族を支えないと」という自覚が生まれ、今は地元の消防団に入っています。

災害時は周囲との助け合いが一番大事で、子どもには大人の助けが必要です。避難所でも仮設住宅でも、人が集まって話せる場を作ってください。人を助けられるのは、やはり人なんです。【聞き手・金森崇之】

Q&A

Q 避難所となった学校を再開するには？

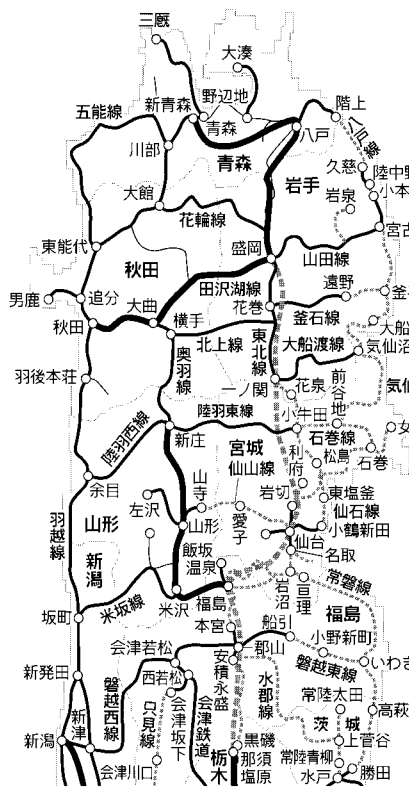
A 先生も避難所運営手伝って

被災地の避難所運営や教育復興を支援する兵庫県教委の「震災・学校支援チーム（EARTH）」研究企画班長で、県立神戸鈴蘭台高の浅掘裕教諭に助言

被災地では、多くの学校が避難所になっています。一方で、子どもの心のケアのためにも、学校の早期再開が必要です。先生が子どもに寄り添えば、変化に気付き、適切な対応ができます。学校の早期再開を目指した避難所運営が必要です。

学校と避難所は共生できます。開設当初は教員が避難所運営を率先しますが、いずれ行政や避難者の自治組織に運営主体が移ります。その後は先生や生徒も避難所運営を手伝うとよいでしょう。先生は避難者同士の会議に出席して学校側の都合などを伝え、理解してもらうことが大切です。学校と避難者の円滑な関係が保てます。

避難生活が長引く場合、荷物置き場も含めると1人3平方㍍が必要です。スペースを有効活用するため移動が必要な時もあります。阪神大震災ではスペースが足りない時、外にテントを張って授業をすることもありました。今回は昼間の災害で、地域の人たちが同じ避難所に逃げられなかったケースもあるようです。時期を決めて、地域ごとにまとまるために避難所間で引っ越しをすべきです。一緒になれば、お年寄りや体の不自由な人も安心でしょう。【川口裕之】



主な鉄道の運行状況 ※3日予定含む

運行中 ═ 不通

◆主な鉄道の運行状況◆

●新幹線
<東北新幹線>一ノ関―盛岡が8日ごろ、那須塩原―福島が今月中旬、福島―一ノ関が今月下旬まで。盛岡―新青森、東京―那須塩原は運行
<秋田新幹線>盛岡―秋田で運行
<山形新幹線>福島―新庄で運行
●JR在来線の再開見込み
※3日は陸羽東線の小牛田―新庄が運転再開予定
<東北線>本宮―福島、岩切―松島、岩切―利府が5日、福島―岩沼が7日、松島―小牛田が9日、花泉―一ノ関が今月上旬、黒磯―安積永盛、小牛田―花泉が今月中旬。仙台―岩沼は2日に再開予定だったが、仙台―名取で折り返し運転になった
<釜石線>遠野―釜石が今月上旬
<常磐線>勝田―高萩が9日ごろ、亘理―岩沼が今月中旬、高萩―いわきが今月下旬
<仙山線>仙台―愛子が4日。愛子―山寺が今月中旬
<仙石線>小鶴新田―東塩釜が今月中旬
<石巻線>小牛田―前谷地が今月中旬
<磐越東線>船引―小野新町が今月中旬
<只見線>会津坂下―会津川口が8日、会津川口―只見が今月中旬
<水郡線>常陸青柳―安積永盛、上菅谷―常陸太田が今月中旬、水戸―常陸青柳が今月下旬
●その他
<三陸鉄道北リアス線>宮古―小本、陸中野田―久慈で運行
<仙台市地下鉄>富沢―台原は運行
<阿武隈急行>保原―梁川は今月上旬、瀬上―保原、角田―槻木は今月中旬再開予定

ミニニュース

■年金受給者から6、8月は天引きせず

東日本大震災の被災者で年金を受給している人について、厚生労働省は1日、介護保険料や住民税を6月と8月に支給される年金から天引きしないよう自治体に通知した。こうした対応は初めて。

天引きしないよう求めたのはこのほか、国民健康保険料や後期高齢者医療の保険料。年金は通常、偶数月に支給される。4月の年金支給分については手続きが間に合わず、天引きされる。天引き分の早めの還付も自治体に求めている。

■ALS協会が街頭募金 東日本大震災で被災した、全身の筋肉が動かなくなる難病の筋萎縮性側索硬化症（ALS）の患者らを支援しようと、患者、家族や支援者でつくる「日本ALS協会」（東京）は2日、東京・銀座で街頭募金を行い、寝たきりの患者らが支援を訴えた。同協会によると、特に被害の大きかった岩手、宮城、福島の3県にALS患者は約420人おり、うち少なくとも4人が行方不明になっている。

■横浜中華街 震災復興チャリティーバザー 3日11～15時、横浜市中区の山下町公園（関帝廟通り）で、中華食材フカヒレの産地、宮城県気仙沼市と縁のある横浜中華街の約30店舗が、肉まんや焼き小籠包（ショウロンポウ）などを販売し、売り上げ全額を日本赤十字社を通じて被災地へ寄付する。獅子舞や竜舞、オーケストラやバンドで会場を盛り上げる他、横浜ベイスターズの選手やFM横浜のDJらも駆けつけ、義援金を募る。

◆主なバスの運行◆

<岩手県北バス>☎019・654・5814
盛岡―郡山は二本松を経由。盛岡―宮古、盛岡―久慈など。
<岩手県交通>☎019・654・7755
釜石、大船渡、陸前高田、大槌の3市1町を除き4日から一般路線が通常運行になる（改正ダイヤ）。4日は他に、仙台―釜石で2往復の運行（予約制）を再開し、盛岡―大船渡を4往復に増便する。盛岡―陸前高田、盛岡―釜石、江刺―仙台、一関・千厩―気仙沼なども運行中。
<ミヤコーバス>☎022・771・5310
4日から仙台―釜石で2往復の通常運行（予約制）を再開し、仙台―気仙沼は6往復に増便する。利府―岩切は4日に終了。JR岩沼駅と白石市、山元、大河原町を結ぶ路線を運行。本塩釜―小鶴新田（6往復）、仙台―石巻（22往復）も運行中。仙台―多賀城は臨時延長している。仙台―郡山は二本松を経由。
<日本三景交通>☎022・354・5151
松島―岩切は4日に終了する。仙台―多賀城は運行中。
<福島交通>☎024・531・2706（福島支社）
☎024・943・1651（郡山支社）
JRの復旧に伴い、福島―二本松は4日に運行終了。相馬地区を除き6日から一般路線が通常運行になる（改正ダイヤ）。郡山と那須塩原、若松、いわきを結ぶ各路線は増便した。他に伊達―仙台、郡山―二本松、白河―須賀川など。相馬―仙台、相馬―福島は新地町を経由。

■公営住宅の被災者受け入れ■

★被災者向け公営住宅等情報センター
フリーダイヤル 0120・297・722 （9～18時）
被災者が入居可能な全国の公営住宅、UR賃貸住宅などの情報を紹介する。入居は原則無料。希望先の住宅を管理する自治体などに電話が転送される。有料の民間賃貸住宅も案内している。

◆近隣都道県の避難者受け入れ先◆

<北海道>道外被災県緊急支援対策本部
☎0120・113・926
<青森県>県生活再建・産業復興局☎017・734・9581
<岩手県>県内陸部の宿泊施設で受け入れ。
県政策地域部の専用窓口☎019・629・5216
<秋田県>県被災者受入支援チーム☎018・860・4504
<山形県>県避難者支援班
☎023・625・1605、1608、023・630・3100
<新潟県>県避難者対策班☎025・282・1747
<茨城県>県避難者対策班☎029・301・6735
<栃木県>相談窓口＝道の駅「那須高原友愛の森」
☎0287・78・3033
<群馬県>県避難者受入れ支援センター
☎0270・26・9420～1、9423
<東京都>都総合防災部☎03・5320・4007
<神奈川県>県災害支援担当☎045・210・5970
<埼玉県>県避難者総合相談センター
☎048・601・2220
<千葉県>県の避難者センター☎043・223・3411
<山梨県>県支援対策室☎055・223・1519
<長野県>県の受入相談☎026・235・7407

希望新聞

愛用ハサミ捜し出し無料散髪

ベテラン女性理容師 店流されても

陸前高田の避難所

がれきの中から見つけたハサミで、同じ避難所に身を寄せる人の散髪をする熊谷キイ子さん＝岩手県陸前高田市で1日

「人に喜ばれ元気もらった」

東日本大震災で被災した岩手県陸前高田市の理容師、熊谷キイ子さん(68)が、自身が身を寄せる避難所で散髪の無料サービスをしている。50年近く営んできた理容室は津波で流されたが、がれきの中から大切に使ってきたハサミ4丁を見つけ出した。「人に喜ばれて、逆に元気をもらっているようで。これに助けられています」。自慢のハサミがシャキリと音をたてる感覚が、たまらなくうれしい。【竹内良和、写真も】

熊谷さんは20歳で結婚し、同市米崎町館に「熊谷理容所」を開業したベテラン理容師。震災があった日は、畑仕事をしていた。あまりの揺れにクリの木に抱きついた。夫の安否を確かめるため、理容所兼自宅に寄ってから高台に避難したが、店にハサミを忘れてきてしまった。高台から理容所が流されていくのが見えた。

夫、小学6年の孫とともに市内の福祉施設で避難生活を始めたが、落ち込んでいた。「ハサミを持って逃げていれば」。研ぎながら長年、大切に使い続けてきた宝物だった。

10日ほど後、店があった場所に行くと、倒れた消毒庫の陰に銀色に光るものがあった。掘り起こすと、ハサミだった。ほかにもあるはずだ。頭上にクギが飛び出た廃材があり、地面にへばりつきながら捜した。「危ねえからやめろ」。夫に止められた。でも、あきらめられない。夫が目を離したすきに、別のハサミも見つけた。泥だらけになっていた。

避難所で、髪が伸びっぱなしの被災者を見かねた。散髪してあげたところ、次々と依頼が来た。「ご飯は食べましたか」「お風呂に入れましたか」。店に立っていたときのように会話を弾ませ、自然と表情が緩む。「本当にすいませんね。あー、さっぱりした」と礼を言われると、笑みがこぼれる。

「店は流されてしまったし、廃業届を出して終わりかなあ。でも、まだ手も動くし、やりたいのよ」

岩手県理容生活衛生同業組合（盛岡市）によると、自宅や店を流されながらも、避難所などで無料で散髪を引き受ける多数の理容師がいるという。組合はハサミや資金の援助などを検討している。

4歳の命救った杉

南三陸 津波にのまれ、ひっかかる

母のみつえさん（左）に甘える悠華ちゃん。震災から3週間たった今でも暗くなるとおびえてみつえさんに抱きついてくる＝宮城県南三陸町戸倉で1日

祖母らは死亡 両親「立派に育て 供養に」

宮城県南三陸町で、津波に流されながら自宅裏の杉林にひっかかり、奇跡的に助かった4歳の女児がいた。一緒に流された祖母らは同じ杉林で亡くなっていた。女児の両親は「立派に育てることが供養になる」と心に決めている。

女児は同町戸倉の自衛官、星修さん(40)、みつえさん(43)夫婦の次女悠華ちゃん。

大震災が起きた時、悠華ちゃんはみつえさんの母ちよさん(75)、祖父の義妹にあたるももよさん(87)と3人で自宅にいた。

同県登米市内に出かけていた夫婦は地震後、約25㌔の道のりを、車を走らせ引き返すと、自宅は跡形もなくなり、がれきが積み上がっていた。「悠華、ばあちゃん。どこにいんのや」。みつえさんは悠華ちゃんらの名を叫び続けた。

約15分後だった。「赤ちゃんいたよー」。家の裏の杉林から男性の大声がした。「ママ！」。声のする方向へ向かうと、作業服の男性が悠華ちゃんを抱きかかえていた。

津波の襲来から1時間以上がたっていた。悠華ちゃんは全身ずぶぬれで、杉の葉だらけ。鼻や口、耳にも津波の水が入っていた。体は冷たく、足は動かなかった。「ママだよ。もう大丈夫だよ」と呼びかけると、悠華ちゃんは「うん」と力なくまぶたを閉じた。

連れていった登米市の診療所で低体温症と診断された。体をふいて湯たんぽで温めると、緊張が解けたか、せきを切ったように泣きじゃくった。

その後、一家は登米市内の修さんの実家に身を寄せた。悠華ちゃんは数日間、黒い下痢が続いた。食欲も出て少しずつ元気になっているが、薄暗くなると泣きじゃくるようになった。みつえさんは「今までになかったこと。津波を思い出すのでは」と話す。

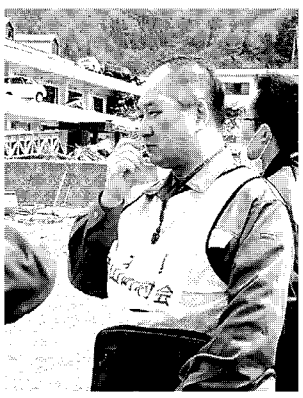
地震の翌日、同じ杉林で、ちよさんと、ももよさんが遺体で見つかった。みつえさんには、2人が悠華ちゃんを守ってくれたようにも思える。

「子どもを立派に育てなければ」。みつえさんは、不安そうに足にまとわりついてきた悠華ちゃんを強く抱きしめた。【垂水友里香、写真も】

「奥尻の経験伝えたい」

派遣の町職員 支援に意欲

岩手・山田



岩手県山田町役場に集まったボランティアとともに救援物資を配った。「たくさんの人が来てくれてありがたかった。今度は自分が恩返ししたい」と、北海道の町村会の派遣職員に加わった。

岩手県山田町役場に2日、93年の北海道南西沖地震で津波などの被害を受けた北海道奥尻町職員が派遣された。自身もいとこや友人を失った、町住民課主幹、長崎武巳さん(49)。「奥尻の経験を伝えたい」。島の復興にあたった経験を三陸の町で役立てるつもりだ。

奥尻島は津波や火事で約4500人の住民のうち198人が死亡・行方不明となった。長崎さんは地震発生時、住民に避難を呼びかけ、その後は全国から駆けつけた消防団員らと一緒に避難所に常駐する職員に代わって町民課で事務作業をするだけでなく、島の被災・復興経験も語らなければと決意を新たにした。

「支援の輪は全世界に広がっている。家族を亡くした人も強い気持ちで生きてほしい」と話した。【関谷俊介、写真も】

横田基地に米軍専門部隊が到着

原発緊急事態対応

福島第1原発事故の緊急事態に備え派遣が決まった米海兵隊の専門部隊が2日、横田基地に到着した。この日到着したのは先遣隊15人で、同様の任務を担う陸上自衛隊中央特殊武器防護隊など日本側と情報交換しながら、緊急事態に備えた準備に入るとみられる。【本多健】

◆国際美術展相次ぎ中止

東日本大震災の影響で、国際的な美術展の中止などが相次いでいる。海外の美術館関係者が日本全体を〝危険視〟し、作品の貸し出しを断ったためだ。

横浜美術館（横浜市西区）は2日～6月26日に「プーシキン美術館展 フランス絵画300年」を開き、モスクワの同美術館が所蔵する絵画約65点を展示する予定だった。震災発生後は開幕延期を決め、期間を縮小しての開催を探ってきた。だが1日、6月までに開催することは不可能と発表。「プーシキン美術館とロシア連邦文化省から、原発事故などにかんがみ、現時点では日本に作品を貸し出せないという判断が伝えられた」と説明している。

一方、広島県立美術館（広島市中区）での「印象派の誕生」展（5日～5月29日）と山梨県立美術館（甲府市）での「モーリス・ドニ」展（16日～6月12日）は中止になった。フランス美術館局が「危険に関する情報が十分ではない段階では、作品の日本への持ち出しや移動などを当面避けるように」との通知を出したためという。フランスからの出品予定作が、広島は全体の6割、山梨は8割以上を占めていた。